



Title	デンマーク語固有名詞のカタカナ表記について：第一音節が短母音で第二音節がシュワーに終わる固有名詞[CVCə]の場合
Author(s)	新谷, 俊裕
Citation	IDUN -北欧研究-. 2009, 18, p. 67-84
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/95558
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

デンマーク語固有名詞のカタカナ表記について

— 第一音節が短母音で第二音節がシュワーに終わる固有名詞 [CVCə] の場合 —

新谷 俊裕

1. はじめに

「ゆったりとくつろいだり、やすらいだり、楽しい時間を過ごすこと」を意味するデンマーク語の名詞に *hygge* という語がある。これには *hyggelig* という形容詞も、*hygge sig* という動詞もあるが、どれも一語で日本語に訳すことはできないデンマーク語特有のことばである。日本にはこの *hygge* ということばに惹かれていた人が大勢いるようで、インターネット上のホームページを見ているとショップの名前やサークルの名前などにこの *hygge* をカタカナ表記にしてつけているのを目にする。そのカタカナ表記には、“ヒュゲ”、“ヒュッグ”、“ヒューゲ”の3種類があるようである。

しかし“ヒュッグ”という促音を用いた表記は、二重子音のあるスウェーデン語やノルウェー語とは異なり、デンマーク語には二重子音がないことから、論外であると言える。例えば、デンマークやノルウェーの各家に住んでいて家を守ってくれていると言われている小人の妖精である *nisse* は、ノルウェー語のものと「ニッセ」とカタカナ表記してしかるべきであるが、デンマーク語のものと「ニセ」としなければならぬのである。

母音が16個あるデンマーク語を母音が5つしかない日本語のカタカナで表記すること自体がそもそも不可能なことである。したがって、名詞や形容詞や動詞のようなふつうの単語をカタカナ表記する必要性はまずないので、これらのカタカナ表記はできるだけ避けるに越したことはないが、固有名詞となると事情が異なり、一般人向けの書物や冊子等において固有名詞のカタカナ表記は避けることができない。そこで2005年に間瀬英夫大阪外国語大学名誉教授と筆者とで、デンマーク語をまったく知らない21名の日本人を被験者としてデンマーク語音の聴取実験を行ない、その結果を参考にしてデンマーク語音のカナ転記方法の指針を決定し、2006年に『デンマーク語音のカナ転記方法の研究 — デンマーク語の固有名詞のカナ表記法を視野に入れて —』にまとめた(間瀬・新谷 2006)。このカナ転記方法を仮に“間瀬・新谷方式”と呼ぶとすると、*hygge* ['hygə]¹ は間瀬・新谷方式では「ヒュゲ」と表記されることになる。

一方、上記のデンマーク語聴取実験のデータから判明したことであるが、デンマーク語を知らない人の多くが、例えば *ligge* ['legə], *lægge* ['lægə], *samme* ['səmə],

bunde ['bʌnə] のような2音節語で第一音節に強勢のある短母音を持ち、第二音節が [ə], すなわちシュワー（曖昧母音）に終る単語において、第一音節の母音は短いにもかかわらず、カナ表記では、それぞれ「リー」、「レー」、「サー」、「ボー」のように音引きでカナ表記している。² 音引きを加えた日本語の長い母音は2拍（モーラ）で、1拍（モーラ）の短い母音の2倍の長さであり、デンマーク語の長母音よりもさらに長いことを考えると、ligge を「リーゲ」と発音したのではデンマーク人にはまず理解してもらえないことは容易に予測できるが、本稿では、2音節語のデンマーク語の固有名詞（名前、姓、地名）で、第一音節が強勢のある短母音で第二音節がシュワーに終わる [CVCə] タイプ [C = 子音, V = 短母音, ə = シュワー] のものの各種カタカナ表記をデンマーク語を知らない1人の日本人が発音したものをデンマーク人に聴いてもらい、元のデンマーク語の固有名詞と同定できるかどうかという実験を行ない、各種カタカナ表記法の妥当性を検討する。

2. 各種のカタカナ表記

本稿で扱う [CVCə] タイプの語のカタカナ表記には、§1 で言及した (hygge → 「ヒューゲ」) のように単に音引きで表記するだけでなく、さらに語末のシュワーは聞こえないものとして、jakke ['jækə] を「ヤーク」、klasse ['klasə] を「クラス」のように語末の音をウ段で表記する市販のデンマーク語の入門書がある。³ 本稿ではこのタイプのカタカナ表記も含めてその妥当性を検討する。

2.1. 実験対象とする [CVCə] タイプのデンマーク語の固有名詞

約 5000 のデンマーク語の固有名詞が収録されているデンマーク語最大の発音辞典である Brink et al. *Den Store Danske Udtaleordbog* を基にして、新谷・間瀬・大辺『デンマーク語固有名詞カナ表記小辞典』を現在編纂中であるが、そこから [CVCə] タイプの固有名詞をいくつか選んだ。

[-gə] に終わる固有名詞：Bache ['bægə] [姓]

[-bə] に終わる固有名詞：Ebbe ['æbə] [男子名], [姓] ; Jeppe ['jæbə] [男子名] ; Hoppe ['hɒbə] [姓] ; Tippe ['tɪbə] [男子名], [姓]

[-də] に終わる固有名詞：Ditte ['didə] [女子名] ; Gitte ['gidə] [女子名] ; Jette ['jædə] [女子名] ; Mette ['mædə] [女子名] ; Nette ['nædə] [女子名] ; Jytte ['jydə] [女子名] ; Lotte ['lɒdə] [女子名]

[-tə] に終わる固有名詞：Otte ['ɔtə] [男子名], [姓]

[-lə] に終わる固有名詞：Bille ['bilə] [姓] ; Pelle ['pælə] [男子名], [姓] ; Malle ['malə] [女子名], [姓]

- [-mə] に終わる固有名詞 : Omme ['ɔmə] [地名] ; Timme ['tɛmə] [男子名] ;
 Ramme ['rɔmə] [地名]
 [-nə] に終わる固有名詞 : Hanne ['hanə] [女子名] ; Henne ['hænə] [姓], [地名] ;
 Sonne ['sɔnə] [姓] ; Lunde ['lɔnə] [姓], [地名]
 [-sə] に終わる固有名詞 : Hasse ['hasə] [男子名], [姓] ; Lasse ['lasə] [男子名] ;
 Misse ['misə] [女子名] ; Musse ['musə] [姓], [地名] ;
 Susse ['susə] [女子名]
 [-fə] に終わる固有名詞 : Uffe ['ufə] [男子名]
 [-ðə] に終わる固有名詞 : Hodde ['hɔðə] [地名]

2.2. 考えられるカタカナ表記

これらの固有名詞に考えられ得るカタカナ表記を付す場合, Hoppe ['hɔbə] を例にとってみると以下ようになる。

	A	B	C	D	E
4. Hoppe ['hɔbə]	ホベ	ホペ	ホーベ	ホーペ	ホープ

A の「ホベ」は間瀬・新谷方式による。B の「ホペ」は短母音は短く聞くものの、-ppe の部分は文字面につられて「ペ」とする場合、C の「ホーベ」は短母音を長く聞く場合、D の「ホーペ」は短母音を長く聞いた上で、-ppe の部分を文字面につられて「ペ」とする場合、E の「ホープ」は短母音を長く聞いた上で、シュワーを聞こえないとし、かつ -pp- の部分を文字面につられて「プ」とする場合である。⁴

このようなカタカナ表記の可能性を考慮して § 2.1 の固有名詞にカタカナ表記を付すと以下ようになる。

	A	B	C	D	E
1. Bache ['bɑgə]	バゲ	バケ	バーゲ	バーケ	バーク
2. Ebbe ['æbə]	エベ		エーベ	エープ ⁵	エーブ
3. Jeppe ['jæbə]	イエベ	イエペ	イエーベ	イエーペ	イエープ
4. Hoppe ['hɔbə]	ホベ	ホペ	ホーベ	ホーペ	ホープ
5. Tippe ['tɪbə]	ティベ	ティペ	ティーベ	ティーペ	ティープ
6. Bille ['bɪlə]	ビレ		ビーレ		ビール
7. Pelle ['pælə]	ペレ		ペーレ		ペール
8. Malle ['malə]	マレ		マーレ		マール
9. Hanne ['hanə]	ハネ		ハーネ		ハーヌ
10. Henne ['hænə]	ヘネ		ヘーネ		ヘーヌ

	A	B	C	D	E
11. Sonne ['sɔnə]	ソネ		ソーネ		ソース
12. Lunde ['lʌnə]	ロネ		ローネ		ローヌ
13. Omme ['ɔmə]	オメ		オーメ		オーム
14. Timme ['tɛmə]	ティメ		ティーメ		ティーム
15. Ramme ['rɔmə]	ラメ		ラーメ		ラーム
16. Hasse ['hasə]	ハセ			ハーセ	ハース
17. Lasse ['lasə]	ラセ			ラーセ	ラース
18. Misse ['misə]	ミセ			ミーセ	ミース
19. Musse ['musə]	ムセ			ムーセ	ムース
20. Susse ['susə]	スセ			スーセ	スース
21. Uffe ['ufə]	ウフェ			ウーフエ	ウーフ
22. Otte ['ɔtə]	オテ			オーテ	オートウ
23. Hodde ['hɔðə]	ホゼ		ホーゼ		ホーズ
24. Ditte ['didə]	ディデ	ディテ	ディーデ	ディーテ	ディートウ
25. Gitte ['gidə]	ギデ	ギテ	ギーデ	ギーテ	ギートウ
26. Jette ['jædə]	イエデ	イエテ	イエーデ	イエーテ	イエートウ
27. Mette ['mædə]	メデ	メテ	メーデ	メーテ	メートウ
28. Nette ['nædə]	ネデ	ネテ	ネーデ	ネーテ	ネートウ
29. Jytte ['jydə]	ユデ	ユテ	ユーデ	ユーテ	ユートウ
30. Lotte ['lɔdə]	ロデ	ロテ	ローデ	ローテ	ロートウ

3. 聴取実験

3.1. 実験方法

§2.2で示したカタカナ表記をランダムに並び替え、⁶ デンマーク語を知らない日本人に MD に吹き込んでもらったものを、デンマーク人⁷ に2回聴いてもらった。1回目は、「今から聴いてもらうのは、デンマーク語の単語をイメージしたものである。固有名詞も含まれている。」と説明して、固有名詞以外の名詞、形容詞、動詞、数詞なども対象であるかのように考えてもらい、思い当たるデンマーク語の単語を書いてもらった。2回目は、「今から聴いてもらうのは、実はデンマーク語の固有名詞（名前、姓、地名）をイメージしたものである。」と説明して、思い当たるデンマーク語の固有名詞を書いてもらった。

1回目に固有名詞だけではなく、ふつうの語の可能性があったのは、デンマーク人が聞いた場合にそれだけ思い浮かべる可能性のある語が増えるからである。例えば2回目のように固有名詞だけに限定した場合にデンマーク人が思い浮

かべると予測できるものは,

(Lunde →)「ローネ」→ Lone ['lo:nə] <女子名>

(Hasse →)「ハーセ」→ Haase ['hɑ:sə] <姓>

(Lasse →)「ラース」→ Lars ['la:s] <男子名>

(Musse →)「ムース」→ Muus ['mu:s] <姓>

などであるが, 1 回目のようにふつうの語の可能性もあるとすると,

(Hoppe →)「ホーペ」,「ホーペ」→ håbe ['hå:bə] 動詞 <望む>

(Hoppe →)「ホープ」→ håb ['hå:b] 名詞 <望み>

(Pelle →)「ペール」→ pæl ['pæ:l] 名詞 <柱>

(Sonne →)「ソーネ」→ zone ['so:nə] 名詞 <ゾーン>

(Lunde →)「ローネ」→ låne ['lɑ:nə] 動詞 <借りる>

(Timme →)「ティーム」→ time ['ti:mə] 名詞 <時間>

(Musse →)「ムース」→ mus ['mu:s] 名詞 <ハツカネズミ>

(Susse →)「スーセ」→ suse ['su:sə] 動詞 <ざわざわ音をたてる>

などのような可能性も出てくるからである.

3.2. 実験結果

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第 1 回実験	第 2 回実験	
					コメント
Bache ['bʌgə]	姓	バゲ	bakke	Bagge	
		バケ	bakke	Bakke/Bagge	
		バーゲ	?	?	
		バーケ	?	?	
		バーク	?	?	

第 1 回目は固有名詞には思い当たらなかったものの,「バゲ」,「バケ」は Bache と発音が同じである名詞あるいは動詞の bakke <丘>/<バックする> と同定され, 第 2 回目では「バゲ」,「バケ」は Bache と発音が同じである Bakke/Bagge と同定された. 音引きのあるカタカナ表記にはいずれも「?」(=「同定できない」の意味)が示された.

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第 1 回実験	第 2 回実験	
					コメント
Ebbe ['æbə]	男子名・ 姓	エベ	Ebbe	Ebbe	
		エーベ	?	Ebbe	母音が長すぎる
		エーブ	Ebbe*	Ebbe	母音が長すぎる
		エーブ	abe	?	

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	固有名詞
					コメント
Jeppe [ˈjæbə]	男子名	イエベ	Jeppe	Jeppe	
		イエペ	Jeppe	Jeppe	
		イエーベ	?	Jeppe	母音が長すぎる
		イエーペ	Jeppe*	Jeppe	母音が長すぎる
		イエーブ	Jeppe*	Jeppe	母音が長すぎる
Hoppe [ˈhɒbə]	姓	ホベ	håbe	?	
		ホペ	?	?	
		ホーベ	håbe	?	
		ホーペ	håbe	?	
		ホーブ	?	?	
Tippe [ˈtɪbə]	男子名・姓	ティベ	tippe	Tippe	[t] の音が弱い
		ティペ	tippe	Tippe	[t] の音が弱い
		ティーベ	?	?	
		ティーペ	?	Tibe	?
		ティーブ	?	?	

「エベ」, 「イエベ」, 「イエペ」は予測通り Ebbe, Jeppe と同定された。「ティベ」, 「ティペ」も第1回目こそ Tippe と同じ発音ではあるが動詞の *tippe* [ˈtɪbə] <トトカルチョ> をする; 傾く> として回答されたが, 第2回目では「男子名」あるいは「姓」の Tippe と同定された。ただし, 語頭の「ティ」の [t] の音が弱すぎるというコメントがあった。つまりデンマーク語の [t] は帯気音で強く息を出して発音するのに対し, 日本語の [t] はフランス語のそれ同様, 帯気音ではないからである。

音引きでカタカナ表記するものの中には第1回目の結果に * の印の付いているものがあるが, それは Ebbe* を例にすると, 第1音節の母音が長すぎるが, ユラン方言 (jysk) を話す人にはこのように母音を長く引っ張る人もいるので, そのように思って聞くと, Ebbe かもしれないと思えなくもないというコメントであった。また, 第2回目の結果のコメントに「母音が長すぎる」とあるのは, 第1音節の母音があきらかに長すぎると言っているのである。§1 で述べたように日本語の長母音は短母音の2倍の長さであるのに対して, デンマーク語の長母音は短母音の2倍の長さにはならず, それよりも短いのである。

そのほかに音引きのあるカタカナ表記では, (Ebbe →) 「エーブ」が長母音をもつ名詞 *abe* [ˈɑːbə] <猿> と同定され ([ɑː] の音は国際音声記号 IPA では [ɛ] である), (Hoppe →) 「ホーベ」, 「ホーペ」が長母音をもつ動詞 *håbe* [ˈhɑːbə] <望む> と同定された。

(Tippe →) 「ティーペ」と同定された Tibe は発音辞典にはないが, 綴りから見

て長母音をもつ ['ti:bə] であろう。

そのほかの音引きのあるカタカナ表記にはいずれも「？」が示された。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Otte ['ɔtə]	男子名・姓	オテ	?	?	
		オーテ	otte	?	
		オートウ	otte	?	

音引きのあるカタカナ表記は、子音字 *-t-* を重ね綴りするものの、長母音を持つ基数詞の *otte* ['ã:də] <8> と同定された。第2回目の回答がすべて「？」であり、この語は認識されなかったが、その理由が母音「オ」にあるのか、日本語の [t] の音が帯気音でないためなのか、不明である。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Hodde ['hɔðə]	地名	ホゼ	?	?	
		ホーゼ	?	?	
		ホーズ	?	?	

[ð] はザ行（音としては [z]（あるいは西日本の発音では [dz]）であり、今回の実験でもこの [dz] の音であった）でカタカナ表記するしかないと思われるが、音引きのあるなしにかかわらず「？」が示された。やはりザ行音を [ð] と同定することは不可能のようである。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Ditte ['didə]	女子名	ディデ	Ditte	Ditte	
		ディテ	Ditte	Ditte	
		ディーデ	?	Ditte	母音が長すぎる
		ディーテ	Ditte*	Ditte	母音が長すぎる
		ディートウ	?	Ditte	母音が長すぎる
Gitte ['gidə]	女子名	ギデ	Gitte	Gitte	
		ギテ	Gitte	Gitte	
		ギーデ	Gitte*	Gitte	母音が長すぎる
		ギーテ	Gitte*	Gitte	母音が長すぎる
		ギートウ	Gitte*	Gitte	母音が長すぎる

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第 1 回実験	第 2 回実験	
			結果	結果	コメント
Jette ['jædə]	女子名	イエデ	Jette	Jette	
		イエテ	Jette	Jette	
		イエーデ	Jette*	Jette	母音が長すぎる
		イエーテ	?	Jette	母音が長すぎる
		イエートウ	?	Jette	母音が長すぎる
Mette ['mædə]	女子名	メデ	Mette	Mette	
		メテ	Mette	Mette	
		メーデ	?	Mette	母音が長すぎる
		メーテ	?	Mette	母音が長すぎる
		メートウ	?	Mette	母音が長すぎる
Nette ['nædə]	女子名	ネデ	Nette	Nette	
		ネテ	nette*/Nette*	Nette	
		ネーデ	?	?	
		ネーテ	?	?	
		ネートウ	?	Nette	母音が長すぎる
Jytte ['jydə]	女子名	ユデ	Jytte	Jytte	
		ユテ	Jytte	Jytte	
		ユーデ	?	Jytte	母音が長すぎる
		ユーテ	Jytte*	Jytte	母音が長すぎる
		ユートウ	?	Jytte	母音が長すぎる
Lotte ['lɔdə]	女子名	ロデ	Lotte	Lotte	
		ロテ	?	L/Rotte	
		ローデ	?	?	
		ローテ	?	Lotte	母音が長すぎる
		ロートウ	?	?	

[-də] で終わるこのタイプの固有名詞（女子名）は、(Nette →)「ネテ」が動詞 nette ['nædə] sig〈化粧・身支度をする〉と同定されているが、そのほかには混同されそうなふつうの語はほとんどなさそうであり、音引きがあるカタカナ表記でも、母音が長いと感じつつも元の固有名詞と同定される傾向があるようである（しかしこれはあくまでも無理をして同定しようとしているものと思われる）。ただし Lotte に関しては、第 1 回目では「ロデ」の 1 度を除けば、語頭の「ロ」を [l] と同定することは困難だったようである。これは日本語のラ行音が [d] に聞こえることが多いためだと思われる。一方、カタカナ表記が固有名詞をイメージしていることがわかっている第 2 回目では、日本滞在の長い被験者は日本人（あるいは日本語）の傾向を知っているためか、Lotte で回答したケースが増えている。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Bille ['bɪlə]	姓	ビレ	Bille/bille	Bille	
		ビーレ	Biehle	?	
		ビール	?	?	
Pelle ['pælə]	男子名・姓	ペレ	Pelle	Pelle	
		ペーレ	pæle	Pelle	母音が長すぎる
		ペール	?	?	
Malle ['malə]	女子名・姓	マレ	?	?	
		マーレ	?	?	
		マール	?	?	

(Bille →)「ビレ」は第1回目、第2回目ともに元のデンマーク語固有名詞と同定されている。また第1回目の回答のひとつである名詞の *bille* ['bɪlə]〈甲虫〉も発音は *Bille* と同じであるから、このカタカナ表記で問題ないことになる。

音引きのある (Bille →)「ビーレ」の回答の *Biehle* は発音辞典にはないが、綴りから見て長母音をもつ ['bi:lə] だろう。また、音引きのある (Pelle →)「ペーレ」は長母音をもつ名詞 *pæl*〈柱〉の複数形 *pæle* ['pæ:lə] と同定された。

Malle の場合には、音引きがあろうとなかろうと、「マ」の「ア」の音が、デンマーク語の [a] と大きく異なっているために元の固有名詞と同定することは不可能であった（デンマーク語の a 音は音環境によって前舌の [a] あるいは中・後舌の [ɑ] として実現されるが、日本語の「ア」は [ɑ] のみである）。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Hanne ['hanə]	女子名	ハネ	?	?	
		ハーネ	?	?	
		ハーヌ	?	?	
Henne ['hæne]	姓・地名	ヘネ	henne/hænde	Henne	
		ヘーネ	hane	Hahne	
		ヘーヌ	hane	Hahne	
Sonne ['sonə]	姓	ゾネ	Sonne	Sonne	
		ソーネ	sone	Sohne (?)	
		ソーヌ	sone	Zohne	
Lunde ['lɑne]	姓・地名	ロネ	?	?	
		ローネ	lɑne	?	
		ローヌ	?	?	

Hanne は上述の *Malle* 同様、「ア」と [a] との違いから元の固有名詞との同定はまったく不可能であった。

(Henne →)「ヘネ」は第1回目は副詞の *henne* ['hæ:nə] <あちらで、離れた所で> や動詞の *hænde* ['hæ:nə] <起こる> と同定されたが、これらの語は *Henne* と発音が同じであるから、問題のないカタカナ表記と言えるであろう。(Sonne →)「ソネ」も同様に問題ない。

一方、音引きのある (Henne →)「ヘーネ」、「ヘーヌ」は長母音を持つ名詞の *hane* ['hɑ:nə] <雄鶏> あるいは発音辞典にはないが、綴りから見て長母音を持つと思われる固有名詞の *Hahne* ['hɑ:nə] と同定されている (Ebbe と *abe* の関係を参照)。(Sonne →)「ソーネ」、「ソーヌ」も同様に、長母音を持つ動詞 *sone* ['so:nə] <償う> や発音辞典にはないが、綴りから見て長母音を持つと思われる固有名詞の *Sohne* ['so:nə] や *Zohne* ['so:nə] と同定されている。

Lunde に関しては、カタカナ表記の語頭にくるラ行のために同定が不可能であるが、(Lunde →)「ローヌ」だけが長母音を持つ動詞の *låne* ['lɑ:nə] <借りる> と同定されている。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Omme ['ɔ:mə]	地名	オメ	?	?	
		オーメ	?	?	
		オーム	Ove	Ove	
Timme ['tɪ:mə]	男子名	ティメ	Tine	Tine	
		ティーメ	tiende 10.	Tine	
		ティーム	time	?	
Ramme ['rɑ:mə]	地名	ラメ	damme	?	
		ラーメ	?	?	
		ラーム	larme	?	

(Omme →)「オメ」は第2回目のときに、被験者は「Omme という地名があるのだけれど、違う」と言いながら回答していたので、母音の口の開きが異なっていることと、この場合は「メ」の「エ」がデンマーク語のシュワー [ə] よりも強く聞こえすぎたことが原因かも知れない。

音引きのある (Omme →)「オーム」は *Ove* ['o:və] <男子名> と同定されており、「オー」はデンマーク語の長母音 [o:] と同定されている。

(Timme →)「ティメ」が長母音を持つ *Tine* ['ti:nə] <女子名> と同定されたことは不可解である。

音引きのある (Timme →)「ティーメ」、「ティーム」が長母音を持つ *Tine* ['ti:nə] <女子名>、序数詞 *tiende* ['ti:inə] <10番目の>、名詞 *time* ['ti:mə] <時間> などと同定されている。

名詞の damme ['dɑmə] <池> と同定された (Ramme →) 「ラメ」は「ラ」が [dɑ] と聞こえているが、母音の長さと口の開きは元の固有名詞のそれと合致している。

(Ramme →) 「ラーム」は語頭子音に [l] を持つ動詞の larme ['lɑ:mə] <騒音をたてる> と同定されており、母音は長母音と同定されたことになる。

固有名詞	ジャンル	カタカナ	第1回実験	第2回実験	
			結果	結果	コメント
Hasse ['hasə]	男子名・姓	ハセ	?	Hasse	スウェーデン語
		ハーセ	Haase	Haase	
		ハース	?	?	
Lasse ['lasə]	男子名	ラセ	?	?	
		ラーセ	?	?	
		ラーズ	?	?	
Misse ['misə]	女子名	ミセ	missee	Misse	
		ミーセ	?	Nise ?	
		ミース	?	?	
Musse ['musə]	姓・地名	ムセ	?	Musse	
		ムーセ	muse	?	
		ムース	?	?	
Susse ['susə]	女子名	スセ	Susse	Susse	
		スーセ	suse	Susse	母音が長すぎる
		スース	suse	Sus	母音が長すぎる
Uffe ['ufə]	男子名	ウフェ	Uffe	Uffe	
		ウーフエ	?	?	
		ウーフ	?	Uffe	母音が長すぎる

(Hasse →) 「ハセ」はスウェーデンの男子名 (Hans の愛称) に由来する元の固有名詞と同定された。

(Hasse →) 「ハーセ」は予測どおり長母音を持つ Haase ['hɑ:sə] と同定された。

Lasse は「ラ」という語頭のラ行音および「ア」の口の開きゆえに、いかなるデンマーク語の固有名詞あるいは語と同定されることはなかった。

(Misse →) 「ミセ」は第1回目は Misse と同じ発音の動詞 misse ['misə] 動詞 <目をしばたたく> および Misse と同定されている。

音引きのある (Misse →) 「ミーセ」は、発音辞典にはないが、綴りから見て長母音を持つ Nise ['ni:sə] と同定された。

(Musse →) 「ムセ」は Musse と同定されている。

(Musse →) 「ムーセ」は長母音を持つ名詞の muse ['mu:sə] <(ギリシャ神話の) ミューズ> と同定されている。

(Susse →)「スセ」は Susse と同定されている。

(Susse →)「スーセ」は第1回目は長母音を持つ動詞の suse ['su:sə]〈ざわざわ音をたてる〉と同定されているが、第2回目は固有名詞とわかっているからであろうか、母音は長すぎるが、それでも Susse と同定されている。

(Susse →)「スース」は第1回目は長母音を持つ動詞の suse ['su:sə]〈ざわざわ音をたてる〉と同定されているが、第2回目は短母音を持つ Sus ['sus]〈女子名〉と同定されている。

そのほかの音引きのあるカタカナ表記にはいずれも「？」が示された。

4. 結語

上の聴取実験の結果からわかることは、母音 [a] を「ア」(=[α])で表記したり、母音 [ɔ], [ɑ] を「オ」で表記した場合や、子音 [l], [r] をラ行で表記したり、子音 [ð] をザ行で表記した場合には、元のデンマーク語の固有名詞と同定することがそもそも不可能にちかいほど困難である。また、デンマーク語の [t] が帯気音であるのに対して日本語のタ行音は帯気音ではないので、語頭の [t] をタ行で表記すると「音が弱すぎる」感じがすると言う。このことは語頭の [p], [k] をパ行、カ行で表記する場合にも言えることであろう。とは言え、カタカナ表記をする以上は、[a] を「ア」、[ɔ], [ɑ] を「オ」、[l], [r] をラ行、[ð] をザ行、[p], [t], [k] をパ行、タ行、カ行で表記することは避けられない、どうしようもないことである。

[CVCə] タイプの固有名詞の第一音節を母音を音引きして長く表記する場合には、たとえ元の固有名詞が同定されたとしても、明らかに母音の長さが長すぎると感じられている。それに対して第一音節の母音を音引きのない短いものとして表記した場合には、母音の長さに違和感を覚えることなく元の固有名詞を同定できることが多い。

(Lasse →)「ラース」のように第一音節の母音を長く聞き、語末のシュワーを聞こえないものとしてウ段を用いるカタカナ表記に関しては、第一音節に長母音を持ち語末にシュワーがなく子音で終わる (Lars →)「ラース」のような固有名詞と同定され得るという予測は、この語に関しては当たらなかった。これには語頭の「ラ」の子音が影響している可能性がある。唯一 (Susse →)「スース」が子音で終わる Sus ['sus] と同定されたが、短母音を持つこの固有名詞と同定されたのかは不明である。

そのほかの例ではカタカナ表記がウ段で終わるからといって特に影響はなかったので、固有名詞のカタカナ表記に関しては語末音をウ段で表記しても問題はないのかも知れない。⁸

(Bache →)「バゲ」、(Bake →)「バケ」、(Jeppe →)「イエベ」、(Teppe →)「ティ

べ」,「ティペ」,(Ditte →)「ディデ」,「ディテ」,(Gitte →)「ギデ」,「ギテ」などについては,第二音節のカタカナ表記が,例えば「デ」のように濁音であっても,「テ」のように清音であっても,元の固有名詞が同定されている。しかし「どちらがより好ましいか?」と問えば、『絶対に「デ」の方が良い』という答えが返ってきた。清音だと「少し音が強すぎる」と言うのである。すなわち,例えば Gitte を「ギデ」とカタカナ表記することには,文字面から言って抵抗があると言う人が多いが,デンマーク人が聞いて一番好ましいのは「ギデ」であると言える。このことは,デンマーク語を知らない21名の日本人を対象に行なったデンマーク語音聴取実験を基に,語中の [b], [d], [g] は濁音として認識される場合が多いのであるから,例えば Petersen も Pedersen も「ピーダスン」と, Bacher も Bagger も「バガ」と提案したものと合致している(間瀬・新谷 2006「7.2. 語中における母音の前の閉鎖音 [b], [d], [g] の聴取実験」 pp. 157-205 参照)。

以上のことから, [CVCə] タイプの固有名詞のカタカナ表記では,音引きのない短いものとし,また [-bə], [-də], [-gə] はたとえ綴り上で -ppe, -tte, -kke のようになっているようにも,「べ」,「デ」,「ゲ」というように濁音で表記する間瀬・新谷方式が最良のものであると結論づけることができる。

(2008年2月3日)

注

1. 本稿では改良 Dania 式音声記号 (DnMs) を用いる。改良 Dania 式音声記号については、『現代デンマーク語入門』および大阪大学外国語学部デンマーク語専攻のホームページの dictionary のページにある『デンマーク語初級教科書 *Lær dansk* 音声表記付語彙集』あるいは『デンマーク語語形変化・発音小辞典』の「音声記号と凡例」を参照のこと。
2. 間瀬・新谷 (2006) にある表に見られるカタカナ表記は以下のようなものである。
 ligge ['legə] (p. 96) [音引きあり (15名)] リーケッ, リーキ, リーギ, リーキン, リークェ, リーケ (2名), リーゲ (2名), リーゲッ, リーケン, リーゲン, リーベ, レーゲ, ルーゲン; [音引に類似 (4名)] リイヴウ, リイケ (2名), リイピ; [音引きなし (2名)] リキ, リグエ
 lægge ['lægə] (p. 98) [音引きあり (9名)] リーゲ (5名), ネーゲ, レーゲ (2名), レーゲン; [音引に類似 (2名)] レイギヤ, レゲイ; [音引きなし (10名)] リゲ (2名), リナ, メゲン, レギエ, レゲ (5名)

samme ['sɑmə] (p. 109) [音引きあり (5名)] サーム, サーム (2名), サーム
メツ, サームン; [音引に類似 (6名)] サーム, サーム (3名), サーム, サ
ウム; [音引きなし (10名)] サム (8名), サムツ, サムン

bunde ['bɑnə] (p. 133) [音引きあり (18名)] ブーネ (2名), ヴォーヌ, ヴォーネツ,
ヴォーノ, ブォーナ, ボォーネエ, ボーナ (3名), ボーナア, ボーネ (5名),
ポーネツ, ボーネツ; [音引に類似 (1名)] ボウネツ; [音引きなし (2名)]
ボネエ, ヨネ

ほかに次のようなものもある。

binde ['bɛnə] (p. 95) [音引きあり (12名)] ヴィーネエ, ビーネ, ビーネツ,
ビーネ (2名), ピーネ, ピーネツ, ビーネツ, ベィーネ, ベェーネ, ベーネ
(2名); [音引に類似 (8名)] ヴィネ, ビィネ (2名), ビィネ, ビィネン,
ベイナ (2名), ベィネエ; [音引きなし (1名)] ビネツ

lykke ['lɔgə] [音引きあり (10名)] ルーゲ (2名), ルーゲツ, ルーゲン (3名),
ルーゲエ, レーゲツ, リューゲ, リューゲン; [音引に類似 (3名)] ルグ,
ルウゲン, ルイゲ; [音引きなし (8名)] ルグ (2名), ルゲ (3名), ルゲン
(2名), レグ(ン)

putte ['pudə] (p. 127) [音引きあり (12名)] プージェ, プーチェ (2名), プーデ,
プーティ (2名), プーティア, プーティン, プーテン, プードウ, プードン,
プーリン; [音引に類似 (2名)] プウデツ, プウテン; [音引きなし (7名)]
プドゥ, プテン, プトゥエ, プドユ, プリ, プリュ, プレイ

Jeppe ['jæbə] (p. 165) [音引きあり (8名)] イェーブツ, イェーバ, イェーブ,
イェバ, イェーブ, イェーペ, イェーペン, イェーヴァ; [音引に類似 (5名)]
イェブ (3名), イェブン, イェパン; [音引きなし (8名)] イェブ (4名),
イェブウ, イェブン, イェヴ, イェブ

また, あるホームページでは, det store kolde bord を「デ・ストア・コーレ・ボー」
として, kolde ['kolə] を「コーレ」と音引きで表記している。また, 別の小麦粉
とパンのホームページでは ostknopper を「オストクノーバー」としており, knopper
['knåbɔ] の短母音を「ノー」という音引きで表記していることから, デンマーク
語の強勢のある短母音はデンマーク語を知らない日本人の中には長く聞こえ
る傾向があることがわかる。

- ほかに pakke パーク, kaffe カーフ, måtte モートウ, henne ヘーヌ, flytte フリュー
トウ, vinde ヴィーヌ, glemme グレーム, samme サーム, ville ヴィール, tæppe
テープなどと表記している。また, 同入門書の著者による, ある翻訳書では
Jylland ['jy,lan'] は「ユーラン」となっている。
- (Pelle →)「ペール」のように綴り -ll- と発音 [l] とが一致するものも E のカテ
ゴリーに含める。
- 「エーブ」は D のカテゴリーには属さないが, 語末のシュワーは聞こえないとし,
語末子音は無声に聞こえたとし, 清音「プ」で表記する場合である。
- 被験者が疲労して, 集中力が低下しないように, 実験用の音声データは 10 個ず
つを 1 グループにして録音し, 1 グループの聴取実験ごとに小休止をするために,
カタカナ表記は下のようにランダムに並べた。

A 1. バーク (← Bache) 2. ビーレ (← Bille) 3. ハネ (← Hanne) 4. ホペ (← Hoppe) 5. ローヌ (← Lunde) 6. ウーフエ (← Uffe) 7. オートウ (← Otte) 8. ミース (← Misse) 9. ローデ (← Lotte) 10. イエペ (← Jeppe)	B 1. ソネ (← Sonne) 2. ティーペ (← Tippe) 3. ハース (← Hasse) 4. ディーデ (← Ditte) 5. ロデ (← Lotte) 6. オメ (← Omme) 7. ティープ (← Tippe) 8. ラース (← Lasse) 9. ディートウ (← Ditte) 10. イエーブ (← Jeppe)	C 1. ロネ (← Lunde) 2. ミーセ (← Misse) 3. エーブ (← Ebbe) 4. ティーメ (← Timme) 5. ハセ (← Hasse) 6. イエテ (← Jette) 7. エーブ (← Ebbe) 8. ペレ (← Pelle) 9. メーテ (← Mette) 11. ペール (← Pelle)
D 1. バケ (← Bache) 2. ネーテ (← Nette) 3. ホーペ (← Hoppe) 4. ヘーヌ (← Henne) 5. バグ (← Bache) 6. ラメ (← Ramme) 7. ムース (← Musse) 8. マール (← Malle) 9. ユートウ (← Jytte) 10. ビレ (← Bille)	E 1. イエーペ (← Jeppe) 2. ラーセ (← Lasse) 3. ティベ (← Tippe) 4. ソーヌ (← Sonne) 5. ギーテ (← Gitte) 6. ティペ (← Tippe) 7. ハーセ (← Hasse) 8. オテ (← Otte) 9. ラーメ (← Ramme) 10. イエデ (← Jette)	F 1. ホーズ (← Hodde) 2. バーク (← Bache) 3. ビール (← Bille) 4. ラセ (← Lasse) 5. エベ (← Ebbe) 6. ディデ (← Ditte) 7. ロテ (← Lotte) 8. ホーベ (← Hoppe) 9. ハーヌ (← Hanne) 10. イエーテ (← Jette)
G 1. オーム (← Omme) 2. イエーベ (← Jeppe) 3. ウーフ (← Uffe) 4. ホベ (← Hoppe) 5. オーテ (← Otte) 6. ミセ (← Misse) 7. バーク (← Bache) 8. ユーデ (← Jytte) 9. エーベ (← Ebbe) 10. イエベ (← Jeppe)	H 1. ホープ (← Hoppe) 2. ティーベ (← Tippe) 3. ペーレ (← Pelle) 4. マレ (← Malle) 5. ハーネ (← Hanne) 6. ヘネ (← Henne) 7. ソーネ (← Sonne) 8. ローネ (← Lunde) 9. オーメ (← Omme) 10. ティメ (← Timme)	I 1. ラーム (← Ramme) 2. ネーデ (← Nette) 3. ムセ (← Musse) 4. メートウ (← Mette) 5. スース (← Susse) 6. ネテ (← Nette) 7. マーレ (← Malle) 8. ホーゼ (← Hodde) 9. ギデ (← Gitte) 10. イエートウ (← Jette)
J 1. スセ (← Susse) 2. ディーテ (← Ditte) 3. メデ (← Mette) 4. ヘーネ (← Henne) 5. ホゼ (← Hodde) 6. ユーテ (← Jytte) 7. メテ (← Mette) 8. ムーセ (← Musse) 9. ユテ (← Jytte) 10. ギートウ (← Gitte)	K 1. ユデ (← Jytte) 2. スーセ (← Susse) 3. ギテ (← Gitte) 4. ティーム (← Timme) 5. ロートウ (← Lotte) 6. ネデ (← Nette) 7. イエーデ (← Jette) 8. ギーデ (← Gitte) 9. ウフエ (← Uffe) 10. ディテ (← Ditte)	L 1. メーデ (← Mette) 2. ネットウ (← Nette) 3. ローテ (← Lotte)

7. 大阪大学デンマーク語専攻のデンマーク人教員 Bente Høilund 先生にお願いした。
8. しかしふつうの語に関しては不都合が生じる可能性があるだろう。たとえば, *hoppe* ['hobə] 名詞 <雌馬> を「ホベ」ではなく, 「ホープ」と表記した場合には *håb* ['hå'b] 名詞 <望み> 「ホープ」と混同されてるの避けられないであろう。

Om at gengive danske proprier med *katakana*

– I tilfælde af proprier af typen [CVCə],

dvs. 1. stavelse med trykstærk kort vokal og 2. stavelse med schwa –

Toshihiro Shintani

Resumé

Når man tænker på at dansk har 16 forskellige vokaler mens japansk kun har fem, er det selvindlysende at det er håbløst umuligt at gengive danske lyd med *katakana*, et af de to eksisterende japanske lydskrift-systemer, så man bør helst undgå at gengive danske ord som almindelige substantiver, verber, adjektiver o.l. med *katakana*. Hvad proprier angår, er det dog tit nødvendigt at gengive dem med *katakana*.

Når man surfer på internettet, viser det sig at der er en del japanere der synes om det særegne danske begreb “hygge” og således bruger dette ord til navnet på deres butikker eller klubber e.l. Her finder man tre typer *katakana*-gengivelser af dette ord, nemlig “ヒュゲ”, “ヒュツゲ” og “ヒューゲ”. Desuden kan man forestille sig at *katakana*-gengivelsen “ヒューグ” eller “ヒューク” også kan forekomme, når man ved at der er en lærebog i dansk på japansk der gengiver fx “pakke” med “パーク”, “henne” med “ヘーヌ” og “samme” med “サーム”.

Siden dansk ikke har dobbelte konsonanter som norsk og svensk har, kan der slet ikke være tale om *katakana*-gengivelse med en lille “ツ” som i “ヒュツゲ”.

Hvad *katakana*-gengivelserne med “on-biki”, længdetegnet “ー” som “ヒューゲ” og “ヒューグ” eller “ヒューク” angår, kan man nævne en tendens hvor en del japanere der slet ikke kender til dansk, hører en trykstærk kort dansk vokal i ordtypen

[CVCə] som lang og således gengiver det med længdetegnet “—” (se undersøgelserne i Mase og Shintani 2006). *Katakana*-gengivelser med vokaltegnet plus længdetegnet “—” betyder at den pågældende vokal har længde på to moræ, som nok for danskere vil føles alt for lang.

I denne artikel har jeg ladet en japaner der slet ikke kan dansk, læse forskellige tænkelige *katakana*-gengivelser af danske proprier af typen [CVCə] op tre gange, mens jeg optog det på MC. Så har jeg bedt en dansker lytte til MD'en to gange. I første omgang har jeg sagt at lydengivelser skal forestille danske ord, herunder proprier, og i anden omgang har jeg sagt at de kun skal forestille danske proprier.

Ifølge resultatet af denne undersøgelse kan man nævne følgende:

- (1) Det er umuligt at identificere *katakana*-gengivelser der indeholder “ア” for vokalen [a], “オ” for vokalerne [ɔ] og [ɑ], “ウ”-rækken for konsonanterne [l] og [r] eller “ヅ”-rækken for konsonanten [ð], med danske proprier.
- (2) Man kan kun gengive danske proprier med initial-konsonanten [t] med *katakana* “タ”-rækken, hvilket dog føles for en dansker som en lidt for svag lyd. Det skyldes nok at dansk [t] er aspireret mens japansk ikke er det.
- (3) *Katakana*-gengivelser af trykstærke korte vokaler med “on-biki”, længdetegnet “—” føles for en dansker “alt for lange”.

Man kan derfor konkludere at *katakana*-gengivelsen af typen “ヒュゲ” uden længdetegnet “—”, dvs. Mase-Shintani-gengivelsen (se Mase og Shintani 2006), er den allerbedste løsning.

参 考 文 献

- 間瀬英夫・新谷俊裕. 2006. 『デンマーク語音のカナ転記方法の研究 — デンマーク語の固有名詞のカナ表記方法を視野に入れて —』. 大阪外国語大学学術研究双書 34. 大阪：大阪外国語大学. (= Mase Hideo og Shintani Toshihiro. 2006. *Hvordan skal man gengive danske lyd med katakana? - med særligt henblik på danske proprier -*. Osaka: Osaka University of Foreign Studies.)
- 岡田令子・菅原邦城・間瀬英夫. 1984 (2001). 『現代デンマーク語入門』. 東京：大学書林.

辞 典

- Brink, Lars *et al.* 1991. *Den Store Danske Udtaleordbog*. København: Munksgaard.
- 新谷俊裕・間瀬英夫・大辺理恵. (原稿) 『デンマーク語固有名詞カナ表記小辞典』.
- 間瀬英夫・新谷俊裕. 2008a. 『デンマーク語語形変化・発音小辞典』, 「音声記号と凡例」, 「項目 A」. <http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/danish/dictionary.html>.
- 間瀬英夫・新谷俊裕. 2008b. 『デンマーク語初級教科書 *Lær dansk* 音声表記付語彙集』. <http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/danish/dictionary.html>.